

法政大学大原社会問題研究所

所 報

(2017.1.1 ~ 1.31)

- 27日 研究所長会議, 研究所総合会議
法政大学ミュージアム検討委員会 (榎)
- 28日 日本アーカイブズ学会 2016 年度第 2 回研究集会
(於: あおぞら財団) (参加: 清水)
- 31日 大原社会政策研究会 (第 30 回)
保田真希 (北海道大学大学院教育学院博士後期
課程) 「発達に不安をもつ子を育てる家族の子
育て——地域移動と社会関係に着目して」

□刊行物

『大原社会問題研究所雑誌』700号 (2017年2月)

□図書受入

	和 書	洋 書	計
購 入	20	15	35
受 贈	20	0	20
合 計	40	15	55

□閲覧サービス

閲覧

開館日数 17日
閲覧者数 11名
貸出図書 12冊

コピーサービス

学外 10件 1,507枚
学内 2件 37枚

日 誌

- 10日 冬季休業明け 開館
共同利用・共同研究拠点申請打ち合わせ
- 11日 拡大事務会議・事務会議
- 16日 社会問題史研究会
- 17日 全造船機械関係資料受贈 (寄贈者: 全造船機械
前書記長 水口欣也氏, 段ボール 16箱)
- 18日 資料事務会議
運営委員会
議題① 2017 年度運営委員会体制について
② 2017 年度客員研究員 (継続) の承認
③ その他
『大原社会問題研究所雑誌』編集委員会
月例研究会
鈴木玲 「アメリカ労働運動の公害問題への取り
組み: OCAW Local 3-631 の 1984 年争議を事
例として」
- 25日 共同利用・共同研究拠点申請ヒアリング (於: 文
部科学省)

大原社会問題研究所雑誌

No.703 (2017年5月号)

2017年5月1日発行

定価 1,000 円 (本体 926 円), 年間購読料 12,000 円

編集 (兼) 発行人 法政大学大原社会問題研究所

編集長 藤原千沙

所 長 鈴木 玲

〒 194-0298 東京都町田市相原町 4342

電話 042 (783) 2305

投稿募集

『大原社会問題研究所雑誌』は、社会・労働問題に関する「論文」「資料紹介（調査報告）」を募集しております。下記の投稿規定と執筆要領に基づいてご投稿ください。 [2015.11.25 改定]

投稿規定

1. 投稿原稿はワープロ・パソコン作成による未発表のものに限ります。
2. 投稿原稿の分量は、原則として 20,000 字以内（図表・スペースを含む）とします。大幅に分量を超える原稿は審査の対象としません。
3. 投稿原稿は、審査用原稿となりますので、本文や注などで執筆者が特定される記述をしないでください。1 ページ目は、原稿の題目に続けて本文に入り、著者名は記載しないでください。
4. 原稿の採否は、本誌編集委員会が指定する審査員の査読を経て、本誌編集委員会が決定します。「論文」は審査の結果、「研究ノート」となることがあります。
5. 掲載原稿には、掲載誌 2 冊と抜刷 30 部をさしあげます。
6. 投稿者は、①投稿原稿（審査用原稿）3 部、②1,000 字以内の要旨 3 部、③表題紙 2 部を送付してください。表題紙に記載する事項は、投稿原稿の①題名、②目次、③分量（図表を除く文字カウント数（スペースを含める）、図表の数）、④著者の氏名（よみがなを併記）、⑤肩書き（所属・職名、大学の場合は学部等まで）、⑥略歴、⑦連絡先（郵便番号、住所、電話番号、電子メールアドレス）です。

【送付先】〒194-0298 東京都町田市相原町 4342 法政大学大原社会問題研究所
『大原社会問題研究所雑誌』編集委員会

投稿原稿 執筆要領

1. A4 版の横書き、40 字×40 行、下部にページ数を付し、白黒・片面で印刷する。
2. 原則として、数字は算用数字、句読点は「、」と「。」を用いる。
3. 本文の各節には「.」のない 1 2 …を用いる。
4. ワープロソフトによる脚注の挿入機能は使用してよい。
5. 図表は、可能なかぎり、掲載を希望する大きさと、そのまま白黒印刷できるものを提出する。本文には余白に【表1 入れる】等と手書きで指定し、図表そのものは別紙に一括し、通し番号をつける。図表の文字換算数は定めないが、審査にあたっては、図表の大きさと全体の分量を概算する。
6. 参考文献は、図書の場合、著者名・発行年・書名・出版社名の順に記述する。雑誌論文の場合、著者名・発行年・論文名・雑誌名・巻号・ページ数の順に記述する。ただし、他の記載方法も可とする。

【記載例】

榎一江（2014）「日本製糸業における労務管理の生成とジェンダー」榎一江・小野塚知二編『労務管理の生成と終焉』日本経済評論社。

原伸子（2012）「福祉国家の変容と子どもの貧困——労働のフレキシビリティとケア」『大原社会問題研究所雑誌』649 号、30-46 頁。

Suzuki, Akira (2012) "The Limits and Possibilities of Social Movement Unionism in Japan in the Context of Industrial Relations Institutions," in Akira Suzuki (ed.) *Cross-National Comparisons of Social Movement Unionism: Diversities of Labour Movement Revitalization in Japan, Korea and the United States*. Bern: Peter Lang.



有斐閣出版案内

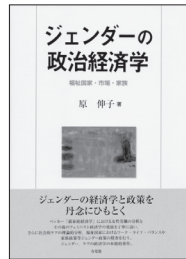
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17/Tel.03-3265-6811
<http://www.yuhikaku.co.jp/>
 (表示価格は税別。消費税込みの金額が定価です。) ●図書目録送呈●

Anniversary
140th
 学研出版創設140周年
 SINCE 1927

ジェンダーの政治経済学

原 伸子著 ● 福祉国家・市場・家族
 ベッカー「新家庭経済学」における女性
 労働の分析とその後のフェミニスト経済
 学の発展を丹念に追い、さらに社会的ケ
 アの理論的分析、福祉国家におけるワー
 ク・ライフ・バランスや家族政策等ジェ
 ンダー政策の精査を行う。

A5判 三九〇〇円



はじめてのジェンダー論

加藤秀一著 ● なぜ人は男か女かという性別にこだわるのか。ジェンダー
 の基礎から最新動向まで、軽妙な講義調で解き明かす、著者待望の書。

(有斐閣ストライプ)
 予価一八〇〇円

社会政策

駒村康平・山田篤裕・四方理人・田中聡一郎・丸山 桂著 ● 福祉と労働
 の経済学
 複数の学問領域にまたがる社会政策を経済学の手法で分析。

(有斐閣アルマ)
 二五〇〇円

合理的配慮

川島 聡・飯野由里子・西倉美季・星加良司著 ● 対話を開く対話が拓く
 障害者基本法、障害者差別解消法、障害者雇用促進法によって法制化さ
 れた障害者に対する「合理的配慮」。法学・社会学・ジェンダー研究の
 視点で、「共生の技法」となりうるこの新しい概念を追究する。

A5判
 二七〇〇円

ボランティアを生みだすもの

三谷はるよ著 ● 利他の計量社会学 どのような人が、なぜボランティア
 になるのか? 「ボランティアの担い手」を生みだすメカニズムについ
 て、計量的なアプローチから明らかにしていく意欲作。

A5判
 三三〇〇円

殻を突き破るキャリアデザイン

筒井美紀著 ● 就活・将来の思い込みを解いて自由に生きる

四六判
 一七〇〇円

派遣労働という働き方

島貫智行著 ● 市場と組織の間隙 質的調査で当事者視点に迫る。

A5判
 予価四三〇〇円

日本の

再生可能エネルギー政策の

経済分析

— 福島県の復興に向けて —



大平佳男著
 A5判 上製 178頁
 本体 3000円
 ISBN 978-4-86014-079-3

再生可能エネルギーの普及と福島県の復興

再エネの普及について政策の面から検討を行い、
 地域経済の活性化に貢献できる、再エネ事業のあり方を検討

福島大学つくしまふくしま未来支援センター編
 福島大学の支援知をもとにした
 テキスト災害復興支援学

二〇〇〇円

福島大学国際災害復興学研究チーム編著
 東日本大震災からの復旧・復興と国際比較

二八〇〇円

境野健児・千葉悦子・松野光伸編著
 小さな自治体の大きな挑戦
 飯館村における地域づくり

二八〇〇円

五十嵐仁著
 現代日本政治
 「知力革命」の時代

一八〇〇円

21世紀の
 若者たちへ
 神山美智子著
 食品の安全と企業倫理
 消費者の権利を求めて

一五〇〇円

表示価格は消費税が含まれておりません

刊行書の一覧は版元ドットコムへ
<https://www.hanmoto.com/bd/hassaku-sha>

八朔社

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂2-19 銀鈴会館内
 TEL 03-3235-1553 FAX 03-3235-5910
 Eメール hassaku-sha@nifty.com